

特集2 学童近視進行予防の現状

世界的な近視人口の増加が深刻な問題になっているが、特に東アジアではその傾向は顕著であり、過度な近視に伴う眼疾患についても注目されている。近視の発症、進行の生物学的理解は不明な点が多いものの、近年、新たな知見が次々と報告され、根本的なメカニズムが解明されつつある。現在までに臨床研究によって近視進行抑制効果が確認された方法に、環境的アプローチ、光学的アプローチ、薬理学的アプローチがあり、近視進行そのものを予防する方法の確立が切望されている。

キーワード

近視、強度近視、環境的アプローチ、
光学的アプローチ、薬理学的アプローチ



くりはら としひで
栗原 俊英

慶應義塾大学医学部 眼科学教室
専任講師